

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	休眠預金等活用に関する調査等に必要経費			担当部局庁	政策統括官(経済社会システム)	作成責任者			
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	休眠預金等活用担当室	参事官 岡本 直樹			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3程度以内)	民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律(平成28年法律第101号)に基づき設置された休眠預金等活用審議会(以下、「審議会」という)において、中期的な視点から休眠預金等の活用に関する意義や目標等を定める「基本方針」等について審議会で議論をした上で策定することとなっている。審議会における議論に資するために、休眠預金等の活用に必要な調査を実施する。								
事業概要(5程度以内。別添可)	・民間の公益的な活動を行う団体に対し資金的な支援を行う団体(資金支援団体)による資金供給の現状と需要を把握する。 ・社会的インパクト評価の普及・拡大を図るための課題を把握する。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	32	56.7		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	32	56.7		
	執行額	0	0	0	-	-			
	執行率(%)	-	-	-	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-	-	-			
平成29-30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	市民活動促進等調査費	31.7	48	「新しい日本のための優先課題推進枠」19					
	職員旅費	0.3	4.1						
	委員等旅費	0	3.5						
	庁費	0	1						
	その他	0	0						
	計	32	57						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由		定量的な成果目標と26~28年度の達成状況・実績					
		本調査によって、基本方針の策定等にあたり、審議会での議論の検討材料を得ようとするもので、直接的な成果を求めるものではなく、定量的な成果目標を設定することは適さない。		定量的な目標:基本方針策定等に向けた審議会での議論の推進 達成状況:-					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度
		基本方針の策定等について審議会での議論を行う	審議会の開催	実績	回	-	-	-	-
			目標値	回	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込
	基本方針の策定等について審議会での議論に資する調査の実施件数			活動実績	件	-	-	-	-
				当初見込み	件	-	-	2	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	執行額/調査数			単位当たりコスト	百万円	-	-	-	16
				計算式	/	-	-	-	32/2

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	3. 経済財政政策の推進							
	施策	⑧民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する制度の運用							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
		実績値	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	休眠預金等の活用にあたっては、透明性の確保や多様性が適切に反映されるよう配慮されるべきであり、審議会での十分な議論を行う必要がある。その議論に資するための調査であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	政府が審議会での議論を踏まえて基本方針を策定することとなり、そのための調査を行うもので、国が実施することが適当である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	基本方針の策定等について審議会での議論に資するための調査を行うための経費であり、休眠預金等の活用にあたり必要な優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名

点検・改善結果	点検結果	
	改善の方向性	

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

通現
り状 事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

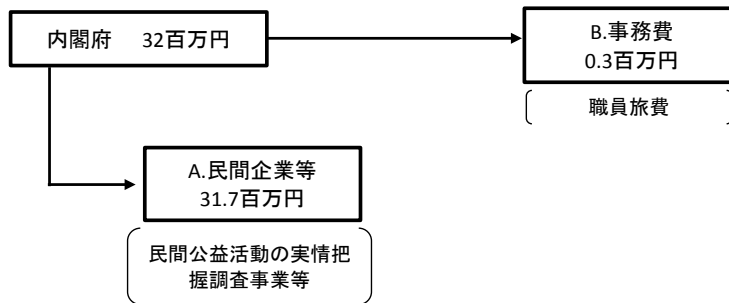
通現
り状 引き続き事業の適切な管理、予算の効率的執行に努めて参りたい。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	計			0	計		0
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	